

無料型紙 バネポーチ作り方（共通）



準備して頂くもの

- お好みの布
- 接着芯（普通厚）
- キルト芯（厚め）
- カン付バネ口金 型紙に記載
- 持ち手（お好みで）

必要な道具

- 家庭用ミシン（直線縫い、ジグザグ縫い）
- アイロン
- 目打ち
- チャコペーパー
- ソフトルレット
- チャコペン
- しつけ糸
- ラジオペンチ

あると便利な道具

- 消えるチャコペン
※水で消えるものや時間が経つと消えるペンは表側に印付けするときに便利です。
- アイロン両面接着テープ5mm
※1cm 折り込む場合や、ファスナーの仮止め、レースやテープの仮止めにとっても便利です♪
- フューズラインテープ
持ち手を手作りする時やDカンのタブ、バイアステープを作るときに便利です。

ステップ1 型紙を切り取り、布を裁断します

- ※ 型紙により必要な枚数が違いますので、指示を見て裁って下さい
- 黒線で切り取って下さい。
- 内側の水色の線は接着芯の裁ち線です。点線の場合もあります
- わ 布を二つ折りにして裁断して下さい。

- ※ 接着芯は内側の水色の線に貼って下さい。
- 製作例のポーチは表側に普通厚の接着芯を貼っております。
- 内側に厚めのキルト芯を縫いつけています。



写真1

ステップ2 バネ口金を通す口布を作ります 型紙C

- ① 両端をそれぞれ3つ折りにしてミシンをかけます。（写真2）
- ② 中心で外表に2つに折り、アイロンをかけて端をジグザグミシンで止めます。（写真3）



写真2



写真3

ステップ3 本体を作ります 型紙A、B

- ① 表部分をパッチワークし、レースやタグを縫い付けます。(写真4)
縫い代はすべてアイロンで割ります。
- ② 縫い代1cmを残して内側に接着芯を貼ります。
- ③ 口布付け位置にわの方を下にして仮止めします。(写真5)
- ④ 裏本体にキルト芯をしつけ糸で固定しておきます。(写真6)
このとき、後から取りやすいように玉止めと糸端は布側にするようにして下さい。
何箇所か縫いつけておくと後でずれません。その場合しつけ糸は取って下さい。
キルティング生地を使う場合は必要ありません。



写真4



写真5

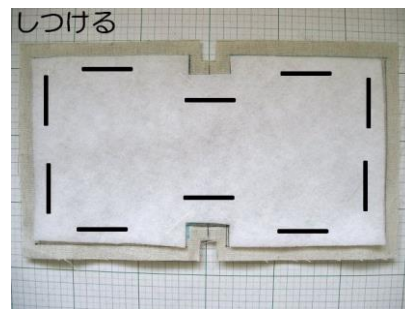


写真6

- ⑤ 表本体と裏本体を中表に重ね、(写真7)口部分を縫いしろ1cmで縫います。(写真8)
裏本体は少し短いので表本体が少したるみます。
- ⑥ 縫い代をすべて表本体側にたおしてアイロンをかけます。(写真9)



写真7

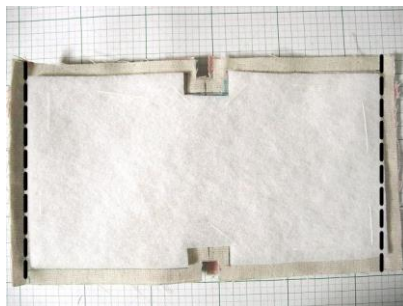


写真8



写真9

- ⑦ 表側からみると口布は裏本体側に倒れます(写真10)
- ⑧ 口部分を中心で合わせて両端を縫います。(写真11)
この時裏本体の片方は返し口を残して縫って下さい。
- ⑨ 縫い代はすべて割り、アイロンをかけて下さい。
- ⑩ マチを3cm縫ってください。4箇所すべて縫います。(写真12)



写真10



写真11

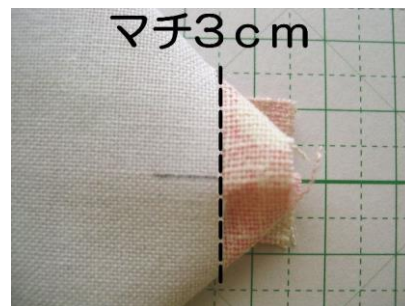


写真12

- ⑪ 返し口から表に返し、角を出し、形を整えてアイロンをかけます。まだしつけはとりません。
- ⑫ 返し口を手縫いかミシンで縫い、閉じます。(写真 13)
- ⑬ 裏袋を表袋に入れ込みます。ここでしつけ糸をとります。(写真 14)
- ⑭ アイロンをかけて形を整えます。(写真 15)



写真 13



写真 14



写真 15

ステップ4 バネ口金を取り付けます

- ① バネ口金を口布の片側から両方入れ込みます。(写真 17)
- ② 反対側からバネ口金を出します。(写真 18)



写真 16



写真 17



写真 18

- ③ 小さい金具（カン）を通してラジオペンチ下端をくるっと曲げてとめます。(写真 19~21)



写真 19



写真 20

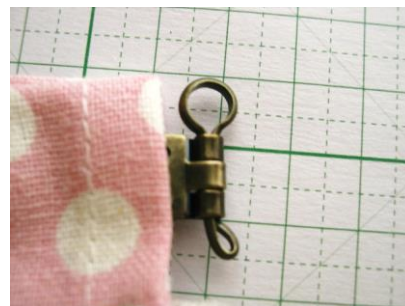


写真 21



写真 22



写真 23



写真 24